

学び続ける教師のために(神奈川の教員育成スタンダード)

教員の目指す姿		○児童・生徒・保護者に信頼される教員 ○子どもの学びを支える教員 ○常に学び続ける教員 ○「チーム学校」を意識しながら仕事に取り組むことのできる教員			
領域	観点	充実期	年目		
			8年目	11年目	年目
I 基礎的資質	(1) 教職への熱意	教師としての自分の実践を振り返り、課題と成果をとらえ直し、今後の実践に生かそうとしている			
	(2) 社会性・同僚性	教職における同僚性の大切さと、それを高めていく方策について考察し、学校の教育力の向上に生かそうとしている			
	(3) 法令遵守	法令・規則を自ら遵守するとともに、他の教員に指導助言を行っている			
	(4) 人権感覚	命の大切さや生命の尊厳などを踏まえ、人権を尊重することや、児童・生徒の自己肯定感を高めることの必要性を理解している			
	(5) コミュニケーション能力	周囲の状況や相手の思いをくみ取り、共感的に理解するとともに、自分の考えを適切に伝えようとしている			
	(6) 健康管理	自己の心身の状況を的確にとらえ、健康管理を行うとともに、同僚の健康にも配慮し、働きやすい職場環境の実現に努めている			
II 教科等の指導と評価	(1) 学習指導要領の理解	学習指導要領の趣旨を理解し、児童・生徒の実態を把握した上で目標を明確にして指導している			
	(2) カリキュラム・マネジメント	教育活動におけるPDCAサイクルの大切さ、地域教育資源の活用、教科横断的な学習指導の必要性を理解している			
	(3) 指導と評価の一体化	十分な教材研究と児童・生徒の実態を踏まえて授業を計画・実践するとともに、評価を生かして授業改善に努めている			
	(4) 授業研究の推進	児童・生徒を中心に位置付けた授業の在り方や、学習指導の改善の大切さについて理解し、継続的に授業改善に取り組んでいる			
	(5) ICTの活用	ICT活用、情報教育について、その効果と課題を理解するとともに、学校全体の情報化を推進している			
III 児童・生徒指導	(1) 学級経営	一人ひとりの個性を理解した受容的な学級の雰囲気をつくり、児童・生徒が互いに協力し合い、高め合える集団を育てている			
	(2) 学年経営	常に学年の様子に気を配り、学年の共通理解のもとに、学習指導や児童・生徒指導等において適切に対処・指導している			
	(3) 児童・生徒の理解	児童・生徒の発達の段階とその特徴を踏まえ、一人ひとりの個性を理解し、さまざまな指導法を用いて効果を上げている			
	(4) 人権教育	児童・生徒の人権に関わる諸課題について問題意識をもって取り組み、校内組織や関係機関と連携して人権教育を推進している			
	(5) インクルーシブ教育	神奈川の支援教育及びインクルーシブ教育の推進について理解し、インクルーシブな学校づくりに向けて努力している			
	(6) 特別支援教育	児童・生徒の障害の特性を理解し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導内容・方法で個に応じた指導を行っている			
	(7) 教育相談	教育相談の重要性を理解し、児童・生徒に対してそれぞれの状況や状態に応じた成長への援助を行っている			
	(8) いじめ・暴力行為・不登校	いじめ・暴力行為・不登校などの未然防止のための指導に力を注ぐとともに、早期発見・早期対応を組織的な対処を行っている			
	(9) 健康・安全教育	日常生活全般における健康増進・安全確保について理解し、事故防止の意識を高くもって健康・安全教育に取り組んでいる			
	(10) キャリア教育	児童・生徒が自分らしい生き方を追求する学習の重要性について理解し、学校の教育計画に基づいて実践している			
IV 学校マネジメント	(1) 学校組織マネジメント	学校における教育活動の中で、ミドルリーダーとしての自覚をもって行動している			
	(2) 人材育成	中堅教員としての役割を意識し、経験の浅い教員を積極的に支援している			
	(3) 危機管理	危機管理について深く理解し、安全・安心の意識や具体策をもち、事故等に対しては適切に対処することができる			
	(4) 保護者や地域等との連携	地域に根ざす学校という意識のもと、保護者や地域等との連携や協働の必要性を理解し、行動している			
	(5) チーム学校づくり	スクールソーシャルワーカーなど、教職員以外の人材も活用して教育活動に当たることの重要性を理解し、取り組んでいる			

学び続ける教師のために(神奈川の教員育成スタンダード)

教員の目指す姿		○児童・生徒・保護者に信頼される教員 ○子どもの学びを支える教員 ○常に学び続ける教員 ○「チーム学校」を意識しながら仕事に取り組むことのできる教員			
領域	観点	発展期	年目		
			年目	年目	年目
I 基礎的実質	(1) 教職への熱意	自己の立場や責任を自覚し、これまで学び続けたことを生かして、中核的存在として学校をまとめ、支えようとしている			
	(2) 社会性・同僚性	教職における同僚性の大切さと、それを高めていく方策について考察し、学校の教育力の向上に生かそうとしている			
	(3) 法令遵守	法令・規則を自ら遵守するとともに、他の教員に指導助言を行っている			
	(4) 人権感覚	命の大切さや生命の尊厳などを踏まえ、人権を尊重することや、児童・生徒の自己肯定感を高めることの必要性を理解している			
	(5) コミュニケーション能力	周囲の状況や相手の思いをくみ取り、共感的に理解するとともに、自分の考えを適切に伝えようとしている			
	(6) 健康管理	自己の心身の状況を的確にとらえ、健康管理を行うとともに、同僚の健康にも配慮し、働きやすい職場環境の実現に努めている			
II 教科等の指導と評価	(1) 学習指導要領の理解	学習指導要領の趣旨を理解し、児童・生徒の実態を把握した上で目標を明確にして指導している			
	(2) カリキュラム・マネジメント	「社会に開かれた教育課程」の観点から、児童・生徒が教育課程を介して社会や世界との接点をもつことの大切さを理解している			
	(3) 指導と評価の一体化	児童・生徒の学習状況に応じた適切な指導と評価を行い、その成果と課題を校内に発信して自校の教科指導力の向上を図っている			
	(4) 授業研究の推進	児童・生徒を中心に位置付けた授業の在り方や、学習指導の改善の大切さについて理解して、継続的に授業改善に取り組んでいる			
	(5) ICTの活用	ICT活用、情報教育について、その効果と課題を理解するとともに、学校全体の情報化を推進している			
III 児童・生徒指導	(1) 学級経営	一人ひとりの個性を理解した受容的な学級の雰囲気をつくり、児童・生徒が互いに協力し合い、高め合える集団を育てている			
	(2) 学年経営	常に学年の様子に気を配り、学年の共通理解のもとに、学習指導や児童・生徒指導等において適切に対処・指導している			
	(3) 児童・生徒の理解	児童・生徒の発達段階とその特徴を踏まえ、一人ひとりの個性を理解し、組織的かつ計画的な指導を推進している			
	(4) 人権教育	児童・生徒の人権に関わる諸課題について問題意識をもって取り組み、校内組織や関係機関と連携して人権教育を推進している			
	(5) インクルーシブ教育	神奈川の支援教育及びインクルーシブ教育の推進について理解し、インクルーシブな学校づくりに向けて努力している			
	(6) 特別支援教育	児童・生徒の障害の特性を理解し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導内容・方法で個に応じた指導を行っている			
	(7) 教育相談	教育相談の重要性を理解し、児童・生徒に対してそれぞれの状況や状態に応じた成長への援助を行っている			
	(8) いじめ・暴力行為・不登校	いじめ・暴力行為・不登校などの未然防止のための指導に力を注ぐとともに、早期発見・早期対応を組織的な対処を行っている			
	(9) 健康・安全教育	日常生活全般における健康増進・安全確保について理解し、事故防止の意識を高くもって健康・安全教育に取り組んでいる			
	(10) キャリア教育	児童・生徒が自分らしい生き方を追求する学習の重要性について理解し、学校の教育計画に基づいて実践している			
IV 学校マネジメント	(1) 学校組織マネジメント	学校経営の中核として、学校教育目標に即した企画を立案し、学校運営が円滑に行われるよう努めている			
	(2) 人材育成	教育力の継承と発展を意識し、経験の浅い教員をサポートするためのOJTの活性化を図っている			
	(3) 危機管理	危機管理について深く理解し、安全・安心の意識や具体策をもち、事故等に対しては適切に対処することができる			
	(4) 保護者や地域等との連携	地域に根ざす学校という意識のもと、保護者や地域等との連携や協働の必要性を理解し、行動している			
	(5) チーム学校づくり	学校に関わる多様な人材がそれぞれの能力を発揮して児童・生徒の教育活動に当たれるよう、コーディネートを行っている			

